

脊椎脊髄病センター

～ 医療機器設備の整備に伴うご寄付のお願い ～

日本全国の高齢化により、医療・介護に様々な問題が生じてきております。

介護の問題は身近な問題となり、高齢化による医療費の増大もいろいろと話題となっております。

病院サイドの問題としては、物価上昇による必要経費（材料費・人件費等）が高騰しているにもかかわらず、収入は国の定める公的な診療報酬で決まっているため物価上昇に十分対応できず、どの病院も経営が苦しい状態となり、病院の約 2/3 が赤字経営となっております。

そのため、手術に必要な医療機器の購入にも四苦八苦している状態です。

介護者をなるべく増やさないことが非常に大切ですが、その原因となっている原因疾患は整形外科疾患が多いことをご存じでしょうか？

2022 年の厚生労働省国民生活基礎調査では、介護（要介護・要支援）が必要となった原因は、3 位が骨折・転倒（13.9%）、5 位が関節疾患（10.2%）と約 1/4 が整形外科関連の疾患です。ちなみに、2010 年は骨折・転倒が 10.2%であり増加傾向が続いております。

また、要支援のみで見ると、1 位が関節疾患（19.3%）、3 位が骨折・転倒（16.1%）と約 1/3 が整形外科関連疾患です。

介護者を増やさないようにするためには、手術を必要とするこれらの患者さんの早期の手術が大切です。安曇野市の状況（令和 2 年度）を見ると、後期高齢者の入院医療費 1 位は骨折で 4 億 8850 万円（トータル 61 億 2950 万円）、75 歳以上は骨折後介護認定になる人が 50%以上となっており、早期手術・早期リハビリテーションを行い、早期の社会復帰・自宅復帰が大切なことがお分かりかと思えます。

そのためには手術に必要な医療機械が必要不可欠なわけですが、すでに老朽化が進み、いつ故障で動かなくなるかわからない状態です。

特に骨折の手術は、外科用イメージという医療機械を使用することが必須です。

現在、当院では更新時期がきている 2 台の外科用イメージを使用してどうにか手術をこなしていますが、これが 1 台壊れてしまうと、単純に手術までの待機期間が 2 倍近くになってしまい、大変なことが起こることが容易に想像できることと思えます。

もちろん、病院としても可能な限りの努力はいたしますが、早期に医療機械を更新するためには皆様のご協力が不可欠な状況です。

安曇野市の皆様が健康で健全な生活ができるよう、お力添えをいただければ幸いです。

ご賛同いただける皆様の温かいご支援をよろしくお願い致します。

利用用途 : 脊椎脊髄手術に関連する医療機器設備整備資金として

目標金額 : 5 千万円



ご寄付のお願い

詳細・お手続きはこちら >

脊椎脊髄症センター長
泉水 邦洋